

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	庄原市立峰田小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校は、庄原市の南部に位置し、中間山地にある全校児童 51 名の小規模校である。本校は、教育目標を「明日やりたいことがある」児童が集う活気ある学校～自ら伸びる～と設定した。「食」についても主体的に学び、課題解決を図る児童の育成を目指している。また、地元の食材を通し体験学習の充実を図っている。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

(1) 食事のマナーの定着と向上を図る。（正しい姿勢と箸の持ち方を身に付けさせる）

①正しい姿勢の定着 70%（低学年→背筋を伸ばして食べる 高学年→茶碗や皿を持ち、箸を正しく使って食べる等、学年にあった評価）

②箸の正しい持ち方の定着 70%（低学年→箸を正しく持つ、中学年→箸を正しく使う、高学年→箸の基本を身に付け正しく使うことができる等、学年にあった評価）

(2) 朝食喫食率の向上と食事内容の充実を図る。

①生活リズムアンケート実施期間中の朝食の喫食率 100%

②朝食の内容について主食と副食の喫食率 80%

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ）食事のマナーの定着と向上を図る。

- ① 食育朝会及び給食時の具体的な指導
- ② 担任、養護教諭と連携した個別指導
- ③ 給食掲示板を活用した指導
- ④ 給食だより等による家庭への働きかけ
- ⑤ 「食事マナー」に係わるアンケート実施

【取組 2】（テーマ）朝食喫食率の向上と食事内容の充実を図る。

- ① 生活リズムアンケートにおいて朝食喫食率の調査を実施（各学期 1 回）
- ② 「第 42 回広島県小学校体育研究大会庄原大会」において、第 5 学年特別活動「健康によい食事のとり方」としてシンクロ選手の食事の特徴から、自分の食生活の課題に気付き、解決する学習を行った。実際に 1 食分の食事を盛り付ける主体的な活動を通して、適切な食事量を知り、今後の朝食の量や食事のとり方等、自分にできることを考えさせた。

※写真はその時の様子



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- (1) 平成27年度より市内栄養士による献立検討会および試食会を行っている。本年度は「ひろしまオールスター★担々丼」を取り上げ、庄原市の郷土料理を基本に「ひろしまオールスター★担々丼・牛乳・庄原とれたて大根サラダ・りんご（比和町産）」市内統一献立を作成し、10月に市内全校で提供することができた。
- (2) 庄原中学校区での統一献立に、平成25年度からのひろしま給食100万食プロジェクト献立も取り入れて、毎月1回以上実施できるように引き続き取り組んでいる。
- (3) 本校では平成25年度からひろしま100万食プロジェクトメニューをすべて入れたレシピ集を各家庭に配付し、献立の良さや作り方を知らせ、調理してもらうように取り組んでいる。また、今年度県の新たな取組である「朝食リーフレット」も各家庭、地域等に配付した。このレシピ集の中から関係学校での授業時に献立紹介を行い、作り方のデモンストレーションをするなどして啓発に努めた。
- (4) 地域の野菜直販所に入賞献立を掲示して広く市民の皆さんにレシピ等を紹介し、配布資料も設置した。



しょうばら ゆめさくらへの掲示

「庄原の食」を一同に集めた施設「食彩館『しょうばらゆめさくら』」に学校給食コーナーを設置 庄原地域栄養士会から毎月・食育の日メニューを紹介している。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- (1) 食事のマナーの定着と向上を図る取組により、マナーを意識して食事をしようとする児童が1学期41%から2学期60%に増えた。また、食事マナーに関する5項目（正しい姿勢や箸の持ち方など）についての全体的な結果は、88%から95%へと向上した。箸の正しい持ち方において、高学年は80%達成することができた。引き続き継続指導していく。
- (2) 生活リズムアンケートの朝食調べにおいて、朝食喫食率が98.5%（6月）から98.9%（11月）と0.4ポイントの向上がみられた。

【課題】

- (1) 食事のマナーにおいては取組により向上が見られたが、児童によっては正しい姿勢や正しい箸の持ち方の習得が不十分であり、さらなる意識の向上が必要である。
- (2) 生活リズムアンケートの朝食調べにおいて、朝食喫食率は向上したが、食べていない児童が固定化する傾向がある。また、ごはんやパンと飲み物だけという食事の内容に課題が見られた。第3学年以上の児童には、主食・副食等食べた物を意識することができるように調査項目を改善して朝食調べを行い、引き続き指導を行っていく。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- (1) 食事マナーである配膳の仕方、箸の持ち方、食事時の座り方等の指導について視覚的に分かる工夫を図り、担任も巻き込んだ指導を進める。
- (2) 朝食を喫食してくる習慣について、ただ食べるという意識ではなく、主食・主菜・副菜(味噌汁)というバランスのよい食事のパターンができるように、レシピ集などの朝食作りのヒントを保護者に配付し、啓発を図る。
- (3) 食育の全体計画を見直し、担任と連携し、計画的に食育授業に取り組む。
- (4) その他
 - ・地産地消の推進を図るため、引き続き地元食材の生産者と食育授業等の計画を立てる。
 - ・食育環境の充実について、担任と連携した授業づくり、掲示物の整備、委員会活動の充実等を図り、食と健康と暮らしに関心をもち、実践できる児童の育成を目指す。